

令和2年度 事業報告

1 概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という未曾有の事態に見舞われた年となりました。その影響で、定時総会を始め、多くのセンター行事・活動の中止を余儀なくされました。加えて、会員も被災を受けた7月豪雨災害では、町は甚大な被害を受けました。このような状況の中でも、会員の皆様には、町民の様々な声に応えていただき感謝申し上げます。

少子・高齢化が急速に進む中で、豊かな知識や経験を持つ高齢者には、地域社会の担い手として大きな期待が寄せられています。今年度の基本方針を地域の高齢者が健康で活躍できるよう「就業機会の開拓・拡大」と「会員の拡大」の二つを重点事業に掲げ取り組んでまいりました。

「就業機会の開拓・拡大」については、昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により社会経済活動に大きな影響が生じており、シルバー事業についても同様な状況にあります。このような中、大型スーパーの品出しや学童保育など人手不足となっている事業所等への派遣拡大、いきいき広場農園管理や役場日直事務など多くの公共事業が新規開拓となった結果、今年度の受注契約金額（請負と派遣の合計）は前年度比6%増の124,480千円と過去最高の実績となりました。今後も、会員の多様なニーズと地域のニーズを見極め、事業拡大に取り組んでまいります。

「会員の拡大」については、定例の入会説明会に加え女性限定説明会や町内5地区での出張説明会を開催するなど鋭意努めた結果、新規会員29名の入会となりましたが退会会員が24名おり、前年度より5名の微増という結果になりました。更なる拡大を目指し、ハローワークとの連携、企業退職者への働きかけを強化してまいります。

就業の基本となる安全就業については「安全は全てに優先する」を合言葉に、安全・適正就業委員会による夏・冬の巡回安全パトロール、安全対策員による安全指導、草刈り・剪定などの安全講習会を通して事故防止に努めた結果、傷害・損害事故は4件と前年度（12件）より大幅に減少しました。

新型コロナウイルス感染症対策については、会員・職員一体となって感染防止対策である「新しい生活様式」を実践してきました。新型コロナウイルス収束への切り札と期待されるワクチン接種が高齢者を対象に始まりましたが、感染の収束はまだまだ見通せない状況ですので、引き続き感染防止対策に取り組んでまいります。

今後の課題は、センター設立時から当センターの基幹就業となっている草取り、剪定等の外作業後継者の育成が喫緊の課題となっています。また、令和3年度はセンター創立30周年を迎えますが、設立から今日まで先輩会員・役職員が築い

てくださった当センターを継承し、更に発展していくことが大きな使命となります。これからも、会員・役職員一体となって地域社会の期待に応え貢献してまいります。

以下、主な事業実施状況について報告します。

2 事業実施状況

(1) 就業機会の開拓・拡大

① 請負事業

発注者別実績では、「企業・施設」は、新型コロナの影響で4～6月にかけて製造や清掃等の休業や縮小により大きく落ち込みましたが、夏以降は通常に戻り、前年度比0.5%増の45,999千円となりました。「個人家庭」は、新型コロナの影響は殆どなく前年度比1.0%増の20,669千円となりました。一方、いきいき広場農園管理、役場日直事務、ふるさと納税書類確認事務、豪雨災害関連業務などが新規就業となった「公共事業」は、前年度比19.8%増の38,778千円と大幅に伸びました。

これらの結果、請負事業契約金額は前年度比6.9%増（6,836千円）の105,448千円となりました。

事業実績（請負）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R1	238人	224人	1,306件	98,612千円	24,430人日
R2	243人	239人	1,268件	105,448千円	24,627人日
比較	5人	15人	△38件	6,836千円	197人日

② 派遣事業

請負事業で対応できない就業について、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「派遣事業」で取り組みました。大型スーパーの品出しや学童保育など人手不足になっている事業所等への派遣拡大に取り組みました。

発注者別実績では、一般企業等は前年度比1.7%増の12,860千円となりました。公共事業は前年度並みの6,173千円となりました。派遣事業契約金額は、前年度比1.1%増（213千円）の19,033千円となりました。

事業実績（派遣）

年度	登録会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R1	36人	36人	19件	18,820千円	3,380人日
R2	33人	33人	18件	19,033千円	3,489人日
比較	△3人	△3人	△1件	213千円	109人日

③ 全体（請負＋派遣）

請負と派遣の合計契約金額は、前年度比6.0%増（7,049千円）の

124,481千円と過去最高の実績となりました。コロナ禍という状況の中、会員皆様の地域貢献に改めて感謝申し上げます。

事業実績(請負+派遣)

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R1	238人	237人	1,325件	117,432千円	27,810人日
R2	243人	251人	1,286件	124,481千円	28,116人日
比較	5人	14人	△39件	7,049千円	306人日

(2) 会員の拡大

「人生百年時代」を迎えた今日、高齢者がいきいきと活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっており、その受け皿となれるよう、次の活動を行って新会員の確保に努めました。

- 入会説明会（毎月第1水曜日）の実施
- 出張入会説明会（町内5地区）の実施（3月）
- 女性限定入会説明会の実施（10月）
- 会員一人ひとりによる友人や知人への勧誘活動
- 夫婦会員の場合、一方配偶者の年会費免除の実施
- 会員募集チラシの全戸配布（2月）
- 広報「シルバー河北」を活用し、会員募集の周知（9月、2月）
- ハローワーク寒河江に会員募集チラシ設置（3月）

会員の入会・退会状況

年度	入会者数	退会者数	年度末会員数
R1	33人	17人	238人
R2	29人	24人	243人
比較			5人

(3) 安全・適正就業の推進

① 安全就業の推進

新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。会員・職員が一体となって「新しい生活様式」を実践し感染防止対策に努めました。

このような状況の中、「安全は全てに優先する」を基本に、次の活動に取り組んだ結果、今年度の傷害・損害事故は4件と前年度（12件）より大幅に減少しました。これからも安全就業には積極的に取り組んでまいります。

なお、会員及び役職員の「安全研修会」「交通安全ゆとり号」による運転者適性診断については、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

- 新型コロナウイルス感染症に対する会員への注意喚起

- 「就業現場巡回安全パトロール」の実施（8月、12月）
- 安全就業の意識高揚を図るため「安全標語」の募集（7月）
- 「安全就業たより」の発行（年5回）
- 「機械器具の安全点検と整理整頓」の実施（3月）
- 会員の「健康診断受診」及び「自家用車任意保険加入」の勧奨
- 刈払機安全対策講習会の実施（6月）
- 植木手入れ安全講習会の実施（8月）

② 適正就業の推進

全ての就業の前提となる「適正就業ガイドライン」を遵守し、「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、「グループ就業」と「ローテーション就業」の推進に取り組みました。

(4) 普及啓発と地域貢献

① 普及啓発

シルバー人材センターの目的や事業内容を町民に広く周知し、センターのイメージアップを図るため、次の活動を行いました。

- 広報「シルバー河北」の発行（年2回）
- 町広報誌にセンター情報記事の掲載
- 「普及用チラシ」と「会員募集チラシ」の全戸配布（4月、2月）
- ホームページの活用

② 地域貢献

シルバー人材センターは、地域社会の福祉と活性化に寄与することも大きな目的となります。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、多くの奉仕活動が中止となりましたが、シルバーの日奉仕活動については、密にならないよう感染対策を行って活動しました。

奉仕活動内容	活動会員	参加人数
9月19日 シルバーの日奉仕活動（商店街街路樹木の除草）	全会員	130人

(5) 講習会及び研修会の開催

会員が就業上必要な技能や知識を取得できるよう技術のスキルアップを目指し、密にならないよう新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、次の講習会に取り組みました。なお、3月に当センター会議室で開催予定の会員研修会は中止としセンター情報誌での代替えとしました。

《講習会状況》

◎山形県高年齢者就労活性化事業（当センター主催）

開催日	講習内容	受講人数
6月11日	刈払機安全対策講習会	24人
8月19日	植木手入れ安全講習会	17人

10月26、28日	初心者植木手入れ講習会	2人
11月9日	雪囲い講習会	20人
11月12日	雪吊り講習会	22人
11月11～13日 11月19～20日 12月2～4日	毛筆筆耕講習会	12人

◎高齢者活躍人材確保育成事業（県連合会と共同開催）

開催日	講習内容	受講人数
8月25～28日	庭木手入れ講習会	6人
11月9～10日	学童保育補助スタッフ講習	2人

◎その他講習（県連合会主催）

開催日	講習内容	受講人数
12月9日	安全就業対策推進事業「交通安全講習」	4人

《研修会状況》

3月に計画した会員研修会については、新型コロナウイルス感染症防止のため中止としセンター情報誌での代替えとしました。

(6) 女性会員事業の推進

女性会員相互の親睦の輪を広げるため、軽スポーツ大会・健康教室・親睦会を計画しましたが、10月22日センター駐車場で開催された健康教室（秋冬の寄せ植え、23人参加）以外の軽スポーツ大会と親睦会については、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

(7) シルバー派遣事業の取り組み

昨今の地域社会の多様なニーズに応じていくために、「請負事業」で対応できない就業については、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「シルバー派遣事業」で取り組みました。

今年度は特に、大型スーパーの品出し、学童保育など人出不足となっている事業所への派遣を拡大しました。

(8) 組織体制の充実・強化

「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、理事会をはじめとする各組織が、活力あるセンター運営に努めました。

しかし、「理事会」「専門委員会」「事務局」のキャリアアップのため研修会については、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。